

令和3年度 第1回歯科口腔保健審議会（書面会議） 議事録

- ◎ 開催期間 令和3年8月30日（月）～9月6日（月）

- ◎ 出席者 角田委員（会長）、橘田委員、巻委員、金子委員、登坂委員、武石委員、小林委員、大久保委員、安井委員、滑川委員、高島委員、西間木委員、相澤委員、黒須委員、西田委員

- ◎ 欠席者 なし

- ◎ 資料
 - ・ 次第
 - ・ 歯科口腔保健審議会委員名簿
 - ・ さいたま市歯科口腔保健の推進に関する条例
 - ・ さいたま市歯科口腔保健審議会規則
 - ・ 参考資料1 さいたま市ヘルスプラン2.1概要版
 - ・ 参考資料2 さいたま市における歯科口腔保健の推進に関する施策の体系図と
歯科口腔保健の主な取組
 - ・ 参考資料3 「さいたま市健康づくり及び食育についての調査」について
 - ・ 資料1 数値目標の推移
 - ・ 資料2 さいたま市の歯科口腔保健事業の実施状況
 - ・ 資料3 さいたま市の歯科口腔保健事業の実施状況（関係団体）
 - ・ 資料4 令和3年度口腔ケア研修会について（案）
 - ・ 資料5 さいたま市障害者歯科相談医ガイドブックの改訂について

◎議事

(1) 会長選出

<説明>

本審議会は、今年度7月に委員改選を行い、今回は改選後初の審議会となります。本来であれば、対面による会議の場で会長選出を行いますが、新型コロナウイルスの感染状況の悪化に伴い、書面会議へ変更したため、引き続き「さいたま市歯科医師会 会長」（角田丈治委員）に臨時でお願いしたいと考えております。

※なお、正式な会長選出につきましては、次回の審議会の場で行います。

議事1について、 異議あり 0人、異議なし 15人

(2) さいたま市歯科口腔保健推進計画の進行管理について

参考資料1 さいたま市ヘルスプラン21 概要版

参考資料2 さいたま市における歯科口腔保健の推進に関する施策の体系図と歯科口腔保健の主な取組

参考資料3 「さいたま市健康づくり及び食育についての調査」について

資料1 数値目標の推移

資料2 さいたま市の歯科口腔保健事業の実施状況

資料3 さいたま市の歯科口腔保健事業の実施状況(関係団体)

<説明>

さいたま市の歯科口腔保健について

・さいたま市歯科口腔保健推進計画は、**参考資料1**4ページの「計画の体系」に記載のある「さいたま市ヘルスプラン21（第2次）」に定める「歯・口腔の健康」に関する計画であり、「さいたま市歯科口腔保健の推進に関する条例」及び国の「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」を踏まえ、本市の歯科口腔保健を総合的かつ計画的に推進するための計画です。

・**参考資料2**は、さいたま市における歯科口腔保健の推進に関する施策の体系図と令和2年度の主な取組です。

「さいたま市ヘルスプラン21（第2次）」との整合性を図りながら、実態にあった課題解決を図るため、「基本目標」、「基本方針」、そして、基本的施策として各ライフステージにおける「中目標」、「小目標」を設定しています。また、各ライフステージ毎の令和2年度の主な取組についても記載しております。

ア 数値目標の推移

・**資料1**は、さいたま市歯科口腔保健推進計画の数値目標の推移です。

・1ページ最上段の左から3列目「目標指標」の下から2番目の「歯間清掃用具を使用する人の割合」、その下の「定期的に歯石を取ってもらっている人の割合」、2ページ上から2番目の「過去1年間に歯科健康診査を受診した人の割合」、下から7番目の「60歳代における咀嚼良好者の割合」の4項目は、最上段左から5列目「データベース」が「市民意識調査」及び「健康についての調査」となっております。これらについては、今年度、**参考資料3**のとおり、市民調査を実施しています。次回の審議会にて、調査結果のまとめ等報告させていただく予定です。

※以下**資料1**1ページ最上段の左から3列目の「目標指標」をご覧ください。

・上から4番目の「中学生・高校生における歯肉に炎症所見(歯周疾患)を有する生徒の割合」について、平成29年度から令和元年度までの数値に修正がございましたので、今回の資料において反映しております。

・本市の歯科口腔保健は全体的に改善の傾向を示しています。

○上から1番目「3歳児歯科健康診査でむし歯のない幼児の割合」

○上から3番目「12歳児でむし歯のない生徒の割合」

以上の2項目はすでに目標値を達成しており、これは、乳幼児期における歯科保健指導や児童の発達段階に応じた指導が功を奏していると考えます。

・新型コロナウイルス感染症の影響を受けたと考えられる目標指標

○上から6番目「小学生・中学生・高校生における歯・口の負傷件数」

これは、休校による登校日数の減少と新しい生活様式に習い、児童、生徒同士の接触を極力控えていたため件数が減少したと考えます。

※次に2ページをご覧ください。

○下から6番目「口腔機能の維持・向上の普及啓発事業」

感染予防対策を講じ、コース数、開催日数、参加者数を減らした上で実施したため前年度より参加者数が減少しています。

○下から5番目「障害者支援施設及び障害児入所施設での定期的な歯科検診実施数」

感染予防のため実施を見合わせた等の影響がありました。

○下から4番目「介護老人福祉施設及び介護老人保健施設での定期的な歯科検診実施数」

外部の方の施設内への入室を中止しているため等の理由で実施を見送った施設があったとの報告がありました。

イ さいたま市の歯科口腔保健事業の実施状況

・**資料2**は、本市の歯科口腔保健事業をライフステージごとにまとめたもので、令和2年度実績と令和3年度予定についても記載しています。

・令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止や感染防止対策を講じて実施した事業もあり、実施回数や参加者等が減少している事業があります。

・全ステージにおいて、むし歯や歯周疾患予防、歯の喪失予防、口腔機能の維持に関する正しい知識、実践する技術向上のための事業及び、健診受診率向上のための啓発を行っています。今も効果的な事業運営や普及啓発について検討していきます。

ウ さいたま市の歯科口腔保健事業の実施状況（関係団体）

- ・資料3は、さいたま市歯科医師会、さいたま市社会福祉事業団、埼玉県歯科衛生士会の取組について照会させていただいたものを事務局でまとめたものです。
- ・ライフステージごとに、それぞれの団体がどのような取組を行っているのかわかるようにまとめています。

議事2について、 異議あり 0人、異議なし 15人

議事2についての御意見（名簿順）

<角田委員>

成人歯科健康診査に関して、今年の「骨太の方針2021」にも「生涯を通じた切れ目のない歯科健診に取り組む」と記載されています。成人歯科健康診査の節目健診化の発想は一考を要すると思います。

<巻委員>

資料1「目標指標」の「中学生・高校生における歯肉に炎症所見(歯周疾患)を有する生徒の割合」(モニタリングの項目)について、数値に大きな変動はなく、「新型コロナウイルス感染症の影響」は、「特になし」となっている。しかし、小学校に歯科検診を行っている経験から、前歯部の歯肉炎が増加している様に感じられる。これは、マスク装着に伴う口呼吸及び口腔乾燥が関与していると思われる。この点について、モニタリングの際に注意する様に促し、引き続き観察していくのが良いのではないのでしょうか。

<武石委員>

資料1 2ページ「目標指標」の「歯科検診を行っている事業所の割合」については、昨年度第1回当審議会において、令和3年度に再調査予定とのことであった。その進捗状況について、教えてほしい。

資料1 2ページ「目標指標」の「事業所の歯科検診実施者数」については、「新型コロナウイルス感染症の影響」が「不明」とされているが、「特になし」としてよいと思うがいかがか。

<大久保委員>

資料2「具体的施策」の「㊹-②健口教室の充実」と「㊹-③健口づくり交流会」は、感染拡大防止のため、令和3年度も前期において中止となっており、データ等の集計が途切れてしまう。開催したとしても人数に制限を設けているので、指導方法を検討し、伝えていかないと歯周疾患の割合が増えてしまうことに懸念を感じる。

資料3については、自らできること、施設でできること、保護者ができることをそれぞれに向けてマニュアル等を作成し、常時上手く歯を磨ける工夫を考えてみたい。

<安井委員>

フォローアップは確実に実施されています。ご苦労様です。

新型コロナウイルス感染症による対人保健サービス困難な現状の影響評価も将来的に必要なになるかも知れません。

<滑川委員>

資料1については、多くが達成されており、大変素晴らしいと思う。特に「3歳児歯科健康診査でむし歯のない幼児の割合」、「12歳児でむし歯のない生徒の割合」の2項目が目標値を達成したというのは、乳幼児期における歯科保健指導や児童の発達段階に応じたご指導の賜物と思われる。

また、資料2も個別受診のものに関しては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けずに実施できており、これまた素晴らしい。

資料3の多くは、中止となっているが、その内容はポスターコンクール、歯の健康教室、予防教室といった予防啓発活動であり、これらの業務縮小は、BCP（業務継続計画）の観点からも、的確な判断だと思う。

<高島委員>

さいたま市として歯科口腔事業に取り組んできている実績と細かいデータより、市民の意識が高まっていることを実感しました。

障害児施設の職員として子ども達にできることから取り組んでいけたらと思いました。

<相澤委員>

「生涯を通じて自分の歯で食べること」、「8020運動達成」など、とても大切に良い事業と思います。一方で、要介護高齢者の残存歯が多いためにスタッフに負担がかかっている事はご存じでしょうか。

資料3の4枚目に事業名や関係機関の記載がありませんでしたが、何も実施していない解釈でよろしいでしょうか。

介護保険における口腔衛生管理加算や経口維持加算の実施状況はどのように把握されているのでしょうか。

以上が疑問に思った点です。要介護高齢者と関わる事が多く、どのような取り組みをしているのが気になりました。

「生涯を通じて自分の歯で食べること」は、生活の質の向上には欠かせないと思いますが、歯があっても食べられない方が私の周りには、沢山いらっしゃいます。「生涯を通じて自分の口から食べること」も大切ではないでしょうか。

老人福祉施設等職員向け歯科口腔ケア研修など行っていただいています。基本的な内容では現場が抱えている問題の解決にはあまり役に立ちません。口腔内は十人十色ですので、口腔ケアも十人十色と思います。歯科医師あるいは歯科衛生士が施設に行って現場で指導することが出来れば良いのではと思います。

今現在行っている各事業の成果が何年後か現れて、さいたま市民がより質の高い生活を営むことが出来る様になると思います。とても良い事業を展開されていると思いました。ただ、全ての施設ではありませんが、改善する必要があると思われる施設が一部あることも知っていただきたいと思います。

<黒須委員>

歯科口腔保健計画、実施時状況について、世代別の対策と進行管理などきめ細かく計画されており、感嘆しました。市民の立場から感謝申し上げます。なお、高齢者の立場から申し上げますと、誤嚥を防ぎたく、口腔ケアに関わる啓蒙対策等をお願いしたく、シニアユニバーシティを活用した講座の回数も年間12回に増やす計画となっており、よろしく申し上げます。

事務局より

・成人歯科健康診査については、国の動向を注視し、本市の状況を考慮しながら実施してまいります。

・**資料1**「目標指標」の「中学生・高校生における歯肉に炎症所見(歯周疾患)を有する生徒の割合」については、口腔乾燥や歯肉炎の増加がマスクによる弊害なのも含め、歯科健診の結果を注視しつつ、必要に応じて、児童生徒、保護者及び教職員に対して、機会を捉えて啓発していきます。

・**資料1**2ページ「目標指標」の「歯科検診を行っている事業所の割合」については、令和3年12月に「事業所歯科検診状況調査」を350事業所に実施予定です。調査対象は、事業所母集団データベースを母集団とし、市内の従業者数が50人以上の民営事業所を無作為抽出により選定します。

・**資料1**2ページ「目標指標」の「事業所の歯科検診実施者数」につきましては、前年度数値と大きな差はなく、新型コロナウイルス感染症の影響はないものと考えられるため、「新型コロナウイルス感染症の影響」は「特になし」とし、**資料1**を修正します。

・**資料2**の3ページ⑳-②、⑳-③につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため従来どおりの事業実施が困難な状況を踏まえ、市報や市ホームページを活用し、高齢者が個人でオーラルフレイル予防や歯科疾患予防に取り組めるよう啓発を行っております。

今後とも国や県の動向を踏まえ、感染予防対策を講じた上で効果的な事業実施ができるよう検討してまいります。

・**資料3**(関係団体：さいたま市社会福祉事業団)2ページ「高齢期」の記載内容につきましては、さいたま市社会福祉事業団様からの報告内容をもとに資料を作成しており、令和2年度の高齢期事業は中止となっております。

・介護保険における口腔衛生管理加算や経口維持加算の実施状況の把握につきましては、市内の要介護高齢者の歯科口腔保健の現状把握と今後の取組みに向けた検討のため、平成28年度に実施した「高齢者施設における歯科口腔保健状況アンケート調査」の中で「介護保険制度における加算の算定状況」を調査しております。その後、同内容のアンケート調査は実施しておりませんが、昨年度は、市内施設に対して「口腔ケアの実施状況についてのアンケート調査」を行い、現状分析の上、口腔ケアに関するリーフレットとQ&A集を作成、送付を行い、施設の口腔ケア実施の支援を行いました。

・口腔ケアに関わる啓発につきましては、口腔機能低下に伴い発症する誤嚥性肺炎やオーラルフレイルを予防するための啓発物を今年度作成予定です。

◎報告

(1) 障害者（児）、要介護者に対する歯科口腔保健について

- ・資料4 令和3年度口腔ケア研修会について
- ・資料5 さいたま市障害者歯科相談医ガイドブックの改訂について

<説明>

ア 令和3年度口腔ケア研修会について

- ・さいたま市指定障害者(児)施設職員・市内介護保険サービス事業所職員向けに資料4のとおり動画の配信による口腔ケア研修会を開催します。
- ・研修会後はアンケート実施による評価を行い、審議会にて報告します。
- ・資料1 2ページ「目標指標」の「事業所の歯科検診実施者数」

イ さいたま市障害者歯科相談医ガイドブックの改訂について

- ・本市では、地域における障害のある方に埼玉県障害者歯科相談医を身近に知っていただくことを目的として作成、配布している「さいたま市障害者歯科相談医ガイドブック」を今年度、医療機関等の変更に伴い、改訂を行います。
- ・ガイドブックの改訂にあたり、令和3年3月に障害者歯科相談医に医療機関情報の照会を行い、回答いただいた情報から資料5のとおり本ガイドブック素案を作成しています。
- ・10月を目途に5,000部作成し、歯科医療機関や薬局、障害者施設、各区役所情報公開コーナー、各区役所保健センター等に配布します。
- ・作成したガイドブックは、さいたま市ホームページで掲載します。

その他の御意見（名簿順）

<武石委員>

現在、コロナ禍のため、事業所ではテレワークを始めとしたデジタル化が進んでいる。産業保健領域の研修会もオンラインの研修会で参加者が見込まれるようになってきたため、事業所への啓発活動も従前の紙媒体等に加え、オンライン研修会を企画してはいかかがか。

<小林委員>

新しい「さいたま市障害者歯科相談医ガイドブック」が出来ましたら、さいたま市薬剤師会に送ってくだされば会で各会員に配布しますのでよろしくお願ひします。

<大久保委員>

歯科衛生士会としては、感染症拡大の影響のため、事業が中止となり、歯や口腔の崩壊を心配している。一回でも実施可能な事業に対しては、対象者に合わせて最小限、続く口腔ケアの方法を伝えていくよう出席者に周知している。

<滑川委員>

コロナ禍はまだまだ続きます。特に変異株の大流行により、児童・生徒の感染が爆発的に拡大している現在、くれぐれもご注意の上、業務遂行をお願いいたします。

事務局より

- ・事業所への歯科口腔保健啓発につきましては、今年度実施予定の「事業所歯科検診状況調査」の結果も踏まえ、いただいたご意見を参考に効果的な啓発方法を検討、実施してまいります。
- ・今回は、書面による会議開催となりましたが、ご質問の他、様々な貴重なご意見ありがとうございました。
- ・次回の審議会開催につきましては、日程が決まりましたらご連絡いたします。